

会長ご挨拶



早いもので H25 年に新組織として発足した現執行部体制も丸 4 年を迎えています。英国の EU 離れ、中国の台頭、世界のリーダーたる力を失った米国等々世の中は大きく変わってきております。

そして隣国の動きは喫緊の課題となっています。

かかる世界の動きとは直接的な関連はありませんが、当組織としても人心を一新すべき時ではないかと思慮した結果、現在清新な人々のリーダーシップに譲るべく幹事および執行部の人選過程に入っております。7 月 1 日の総会では若返った組織をご紹介できるものと存じております。

この 4 年間を振り返ってみますと、まず近隣三田会、稲門会との更なる密な交流を図ることができたと思えます。特にゴルフ、囲碁、マージャン、カラオケの各愛好会には近隣三田会から多くの参加者を得、また稲門会との交流では隔年交代で主催を受け持つ講演会も 5 回を数えております。これもひとえに各愛好会の諸氏そして担当幹事のかたがたの努力の賜物と感謝申し上げます。

また、三田会サロンを発展させて、一昨年からは経験に富んだ会員にお願いしてお話をさせていただき催しも発足させていただきました。下山さん、柴田さんの示唆に富んだお話は大変興味あるものであり、また多くの教えられる内容を含んだものでした。今後もぜひ続けたい企画であると思っております。

幹事の中には残念ながらお亡くなりになった方もおられますが、徐々に若返りをはかってまいりました。現在千葉県合同三田会の 18 ある各近隣三田会の共通した悩みでもありますが、若い世代の会員の参画につき皆様方のご協力もぜひお願い申し上げます。

新規の愛好会、催しもひとつのきっかけになるかと思えます。新しいアイデアのご提供をお待ち申し上げます。

佐倉三田会の発展に今後ともますますのご協力をお願いする次第です。

(S40 商) 園田紀之

第 17 回総会のご案内

平成 28 年は国内外ともに騒がしい年になりました。世界の政治の流れはこれからどうなっていくのでしょうか？

佐倉三田会は政治や宗教等には一切関わらないのを会是(国是から採った新語ですが)ですから、これからは出来る限り和気藹々とした平和な雰囲気の中で活動を続けていきたいと思えます。

第 17 回総会も、講演会・懇親会に工夫を凝らした企画を考えております。

大勢の会員の皆様のご参加心待ちにしております。

第 17 回 佐倉三田会総会・講演会・懇親会

- 日 時： 平成 29 年 7 月 1 日 (土)
16:00 ~ 20:30
- 会 場： ウィシュトンホテル ユーカリ
京成線ユーカリが丘駅隣接 TEL. 043-489-6111
- 総 会： 16:00 ~ 16:40
- 講演会： 16:50 ~ 18:00
講 師 小此木政夫様 (慶應義塾大学名誉教授)
演 題 [朝鮮半島情勢の新展開]
- 懇親会： 18:15 ~ 20:30
アトラクション 講談
講談師 若林鶴雲様 (塾員)
演 目 [慶應名応援歌誕生物語]
[別題 [若き血誕生物語]
- 参加費： 7,000 円
- 年会費： 3,000 円
(塾員のみ、ご家族の方は不要)



講演会講師 小此木政夫様 プロフィール

群馬県伊勢崎市生まれ。東京都立江北高等学校を経て、1969 年に慶應義塾大学法学部

政治学科卒業。1975 年同大学院法学研究科博士課程単位取得退学（1972 年から 1974 年延世大学に留学）、1987 年に法学博士の学位取得。同大学法学部講師・助教授を経て、1985 年から教授。2005 年から 2007 年まで法学部長を務めた。2011 年 慶應義塾大学定年退任、名誉教授。九州大学、韓国東西大学特任教授



(wikipedia より引用)

講演会講師 若林鶴雲様 プロフィール

本名：若林誠

二 昭和 24 年東京都台東区生まれ（67 歳）、慶應義塾中等部から大学までずっと體育會弓術部一筋。昭和 47 年商学部卒業。平成 23 年から平成 27 年まで慶應義塾女子高等学校の弓術部監督を務め、平成 27 年 1 月の全国高等学校選抜弓道大会（鹿児島）に出場を果たした。

サラリーマン（大手石油会社）を定年退職後、ボランティア活動として都内を中心に社会福祉施設や地域の敬老会などで講演を披露している。

平成 28 年度佐倉三田会活動報告

◇ 第 16 回佐倉三田会総会・講演会・懇親会

第一部（総会）

- 第 1 号議案 平成 27 年度活動報告
 - 第 2 号議案 平成 27 年度会計報告及び監査報告
 - 第 3 号議案 平成 28 年度活動計画（案）
 - 第 4 号議案 平成 28 年度予算（案）
 - 第 5 号議案 新幹事（案）承認の件
- 第 1 号議案から第 5 号議案まで、滞りなく承認された。

第二部【講演会】

- 講師 航空評論家 杉江 弘様
演題 多発する航空機事故とその原因と対策
JAL で長年パイロットとして活躍してこられた方のお話は近年多発していた航空機事故と安全面で非常に参考になった。

第三部（懇親会）

アトラクションとしてハワイアンバンドとフラを招き、懇親会を一層盛り上げてくれました。

- ◇ 第 9 回佐倉三田会ファミリーパーティー
平成 28 年 12 月 18 日（日）17:30 から 20 時 30 迄 ウィッシュトンホテルにて開催。
参加者は会員、ご家族含めて 45 名が参加。今年の企画は佐倉出身で会員の田林さんのお嬢さんの落語家 三遊亭ユーカリさんを招いて皆さんの爆笑を誘いました。毎年暮れの恒例となりましたオークションも実施され、収益金は会の運営に回されました。
- ◇ 幹事会開催
毎月 1 回開催、又必要に応じて臨時に開催。（1 月、7 月は休会）
- ◇ 近隣三田会との交流
近隣三田会とは総会出席、各愛好会活動を通じて交流が深まっています。（詳細は各愛好会活動報告を参照してください）
- ◇ 佐倉稲門会との交流

ゴルフ親睦対抗戦、講演会の共催も定着してきました。今後も地域への貢献等も含めて交流を深めていきます。

◇ 各愛好会・サロン及び史跡散策会報告

➤ ゴルフ愛好会



ゴルフ愛好会は、ゴルフを通じて会員の健康と親睦を図ることを目的に 2001 年（平成 13 年）9 月に結成され、同月に第 1 回ゴルフ大会を習志野 CC にて開催致しました。その後には、近隣の八千代・四街道三田会、それに佐倉稲門会との親睦・対抗戦も新たに加えて近隣との友好、親善の輪を広げています。現在では年間行事として、定例ゴルフ大会、Open Fun Golf 大会、それに近隣三田会との親睦・対抗戦をそれぞれ年 2 回開催しています。尚、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では、春・恒例の八千代三田会との親睦対抗戦を急遽中止しましたが、それ以外は予定通りに年間 6 回の行事予定を実施し消化しています。又、2010 年 9 月 7 日（火）には「佐倉三田会創立・10 周年記念」の拡大 Open Fun Golf 大会を泉 CC にて開催しました。愛好会メンバーに加え、そのご家族、塾員のご友人、総勢 96 名（男性 86 名、女性 10 名）の多数の方々にご参加頂き、好天に恵まれ盛大な記念大会を実施出来ました。この大会を通じて改めて塾の絆の強さを実感致しました。愛好会の

会員数は現在約 40 名となっております。

今年平成 29 年（2019 年）の行事予定は次のようになっています。

4 月 7 日（金） 第 14 回八千代親睦対抗戦 泉 CC 東・南コース 8 時 8 組同時スタート 終了 団体戦 八千代三田会優勝（対戦成績 佐倉 3 勝 8 敗）

5 月 30 日（火） 第 34 定例競技 総武 印旛コース 8:22 分 in・out スタート 6 組

7 月 3 日（月） 第 28 回 Open Fun 佐倉 CC 8:10 in・out スタート 6 組

10 月 6 日（金） 第 35 回定例競技 泉 CC 予約交渉中

11 月初旬 第 5 回 佐倉稲門会親睦ゴルフ 佐倉 C.C. 今回幹事は佐倉稲門会

12 月 11 日（月） 第 29 回 Open Fun その後忘年会 佐倉 CC 及び 「与作」 予定

他、四街道、千葉連合三田会等へのゴルフ参加については別途幹事会で検討・参加予定。

定例ゴルフは、全員ハンディキャップの下で順位を競う公式競技とし、Open Fun Golf は順位を競わず楽しくプレーし歓談して頂くことをモットーとした大会となっています。

女性の方々にも是非ご参加頂きたいと思っております、奮ってご参加頂きたくお願い致します。

尚、2013 年 3 月に従来のハンディキャップの見直しを行い、第 26 回定例ゴルフ大会よりの定例ゴルフ大会は新ハンディキャップ適用でのプレーとなっております。

平成 29 年度の役員は、会長：下山博（法 35 年）、副会長：橋本政彦（法 41 年）、杉浦富士郎（商 43 年）、幹事 今井正弘（経 45 年）の 4 名で担当致します。ご協力の程、宜しくお願い致します。

メンバー各位の憩い、交流の場として益々発展出来ますよう一層の努力を致したいと考えておりますので宜しくご支援、ご協力をお願い致します。

（S41 法）橋本政彦

➤ 囲碁愛好会

囲碁愛好会は平成 14 年 9 月、初代会長の信宮さん、幹事長の永田さんが発起人代表となり設立総会が開催され、白井老幼の館で産声をあげました。当初



の会員は 5～6 名だったと思いますが、15 年目を迎えた今は、会員も 23 名となり、千葉県内の三田会でも稀にみる大世帯となっています。ほんの覚えたての級位者から 7、8 段といった高段者まで幅広い層の会員が倶楽部ライフを楽しんでいます。

当愛好会の活動としては、まず月例会があります。毎月第二土曜日の午後、京成佐倉駅前のミレニウムセンターで開催し、毎回 13～15 名の会員が参加しています。級位者の棋力アップを図るため、高段者による指導碁も行っています。

月例会の他に今年度は 3 回、1 月、5 月及び 10 月に囲碁大会を行いました。1 月は「新春囲碁大会」、10 月は「総会囲碁大会」としてミレニウムセンターで開催、それぞれ 20 名前後の会員が参加し、賞金を懸けて勝敗を競いました。5 月は「合宿囲碁大会」として、合宿形式で行っています。この合宿は平成 17 年から始まり、当初は国民宿舎の白子荘、一の宮荘などで行っていましたが、平成 22 年からは生命の森リゾート日本エアロビクスセンターのコテージで開催しています。今年度は、17 名の会員が薫風かおるコテージでの対局を楽しみ、翠州亭での会席料理に舌鼓を打ちました。翌日は第 2 回目から恒例となっているゴルフを「真名 CC」で行い、11 名が参加しました。

対外活動としては、稲門会との親善囲碁大会が今年で 10 回目を迎えました。4 年前から染井野中央

集会所で開催することとなり、双方からほぼ 10 名が参加しています。対局後はその場で懇親会に移り、親睦を深めています。今回は稲門会の提案で「トランプ氏」についてフリートーキングを行い、大いに盛り上がりました。初級者同士の早慶戦も昨年からは始まり、初級者の活動の場を広げています。

初心者の中の熱心なグループが毎週木曜日、志津の西部保険センターで自主的に勉強会を開き、高段者の指導を受けています。

囲碁の根本精神は「相手も楽しみ、我も楽しむ」ということだそうです。今後とも会員みなさんに楽しんでいただくということを「ファースト」に会の運営に当たりたいと思います。

(S38政) 井上隆幸

➤ 麻雀愛好会

麻雀愛好会は毎月 1 回（原則第 4 土曜日）定例会を行っておりますが年 3 回（1 月、5 月、9 月）は大会として麻雀終了後、場所を移し懇親会を行い盛り



上がります。

定例会がだいたい 3 卓、大会になると 5 卓（20 人）がほぼ定着しつつあります。

この他にも今井さんが世話役をして下さるプライベート麻雀会（2 卓）が月 2 回行われております。

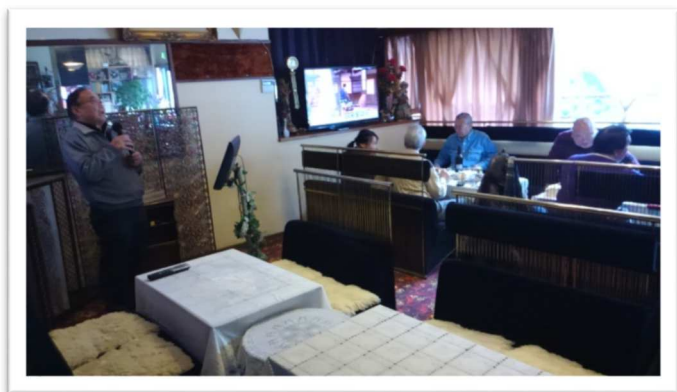
昨年あたりから船橋三田会のメンバーも何人か参加して下さる様になり、今迄の四街道、千葉、成田からのメンバーに加えて、遠路、神奈川県鎌倉から参戦される方も出てこられました。定例会はほぼ半分の方に賞品(お菓子)が当たる他、大会の時は、北海道釧路から直送の海の幸(タラバ蟹、毛蟹、鮭、ほたて、たらこ、いくら等)の賞品が皆さんに喜ばれている様です。近隣の三田会も麻雀愛好会が活発に活動しており船橋三田会も定例会が 3 卓集まる様になり、1 番最初に始めた佐倉としても嬉しい限りです。

佐倉三田会麻雀愛好会は会長柴田、副会長天野、幹事長及び会計柳原の他に新進気鋭の田中さんが新たに幹事に加わりましたので今後ますます皆さんの期待に応えられる様頑張っていきたいと思っております。

(S30 経) 柴田 実

➤ カラオケ愛好会

佐倉三田会のカラオケ愛好会の開催は原則月 1 回、そのうち懐メロ会として



奇数月の第 3 日曜日と偶数月の佐倉三田会愛好会として不定期で行っています。

懐メロ会としては、八千代、船橋、四街道の会員と合同で平均 15 名前後の参加者で楽しんでいます。

偶数月開催の佐倉三田会愛好会は平均 8 名前後の参加者で佐倉中心です。

開催場所は、懐メロ会として白井駅前のカラオケスナック「エントリー」で 12:00~16:30 まで、

佐倉カラオケ会として京成佐倉の「シルク」(市役所近く)で 12:00

~15:00 まで開催しています。

参加人数にもよりますが、一人 3~4 曲歌っています。

天野 一良(S48 文)

➤ 第 27 回佐倉三田会「ワンコインサロン」の報告

H29 年 2 月 18 日(土)に志津公民館 2 階で当会会員の柴田実さんを講師にお迎えし「卓球にかけた青春」の演題で講演を行いました。出席者は約 30 名と盛大な講演会でした。

講演は柴田さんの祖父の出身地、父上の大学や勤務先、ご本人の生い立ちや幼稚園での教育内容などから始まり、どのように卓球と縁が結ばれたかの説明をユーモアを交えて行われました。

飯坂温泉での卓球競技で優勝したのを始め、母校の卓球部の優勝にも大きく貢献した内容を講演して頂きました。

柴田さんが出場した大会、優勝などの経歴を事細かく記述した資料を作成して頂きその内容の緻密さにも驚きました。

講演終了後、懇親会が志津の会席川京で開催され 20 名の方が参加されました。

(S47 経) 小林貞三

➤ 史跡散策会

第 3 回史跡散策会(平成 29 年 3 月 4 日)

【岩富から坂戸へ】

史跡散策会の第 3 回目として、地元佐倉に残る里山と史跡を巡る散策の第 3 弾。今回は好天に恵まれた初春の一日、岩富の殿山城跡・長福寺から岩富の台地を西へ抜け鹿島川を渡って坂戸の念仏塚までの約 5.2km の行程でした。

参加者: 22 名 (反省会参加者は 20 名)

当日 **行程**: 京成佐倉駅 —(路線バス)→ 第三工業団地(停) → 水神様 → 殿山城跡長福寺 → (岩富) → 熊

野神社 → (小鯨) → 中島橋 → 坂戸八幡神社
→ 坂戸馬場館跡 → 西福寺 → 庚申様 → 念仏塚
→ 川村記念美術館駐車場 (デマンドバス) →
京成佐倉駅 → 【反省会】「新ずし」

第三工業団地最奥にあるひと気の無いバス停から工場脇の道伝いに畑を抜けてまず向かったのが岩富の里山に埋もれたように残る「下川の水神様」跡。半世紀位前までは胃腸病に効くと言われた水がこんこんと湧き出てご利益に預かろうという村人で賑わったと言われるが、その泉も今はほとんど枯れて丸い板碑が残るだけで昔の面影はない。谷津沿いに田んぼ道に戻ると長福寺の入口、ここから山門のある台地上まで急な坂道を50mほど登る。途中左手の林の台地が前回訪れた岩富城の支城の一つと言われる殿山城跡だ。台地端に土塁と空濠跡の一部が残るが林の中でほとんど判らない。高齢者にはきつい坂だが全員無事に山門に辿り着く。昔はここが長福寺の正門であり参拝者はこの急坂を登ってお参りしたが、参拝者の高齢化と車社会となったことで最近になって本堂の裏側に新たに車で出入りできる道が作られ今ではこちらが入口となっている。本堂と、境内にある岩富城主歴代の原氏供養塔・ノンノン様・百八つの乳状の突起のある梵鐘などを確認して新しくできた入口から長福寺を後にする。数年前までは路線バスが通っていた県道(277号線)の岩富の元バス停辺りから岩富の台地上を西に歩くと熊野神社だ。紀伊国の熊野神社に縁の神社で岩富城を築城した原景廣が岩富城の守護神として祀ったとされる。さらに台地上を進み坂道を下ると視界が開け坂戸の集落が眼前に現れるが鹿島川が行く手を遮り簡単には対岸には行けない。“小島の狐”伝説として弥富の昔話に出てくる小鯨にある小島の横を通り中島橋を渡って漸く対岸の坂戸へ。馬渡からの県道(旧道)を南に進むと右に坂戸八幡神社入口の案内板。神社はここから横道に入った裏手にある。この神社も原一族(原近江守)の氏神様として崇められてきた。八幡神社から旧道に戻り左手に坂戸馬場館跡(岩富城の重

臣の館跡?)と思しき竹藪を横に見ながらさらに進むと西福寺に到着。西福寺は、昨年12月の「こうほ



う佐倉」でも紹介された“念仏踊り”が行われることで有名。境内の大イチョウ、六地蔵などを見て長福寺を後にして、最終目的地である「念仏塚」へ向かう。33年に一度の「大十夜」に行われる念仏踊りは西福寺から念仏塚まで踊りながら練り歩く華やかな行列だ。途中道標を兼ねた「庚申様」に立ち寄り、そこからは念仏踊りの行列と同じ道を歩き土で固められた3つの大きな台錘形の塚のある念仏塚に着いたのは歩き始めて約2時間半後の4時過ぎ。少し戻って川村美術館駐車場に着くとすでにデマンドバス(注)が待っていた。

デマンドバスとタクシー4台に分乗して、デマンドバスは京成佐倉駅まで、タクシー組は直接反省会場所の「新ずし」へ向かった。恒例の反省会(懇親会)は京成佐倉駅南口の「新ずし」の2階座敷を借り切って実施。美味しい魚料理とお酒に舌鼓を打ちました。

(注) 本叢策会は原則として公共の交通機関を利用することにしています。しかしながら近年佐倉市のとくに南部地域では過疎化が進み路線バスが減便・廃止され公共の足が少なくなってきました。そこで佐倉市は南部過疎地区の足として5年ほど前からデマンドバスの運行を始めています。このデマンドバスは運行路線・時刻は決まっておらず予約制で申し込

めば利用が可能です。

とのない思い出です。

(S45工) 萩原隆一

愛好会・サロン・史跡委散策会参加申込先

① ゴルフ愛好会

橋本政彦

Tel&Fax: 043-461-6303

Email: fwij4695@mb.infoweb.ne.jp

② 囲碁愛好会

有馬 広

Tel&Fax: 043-462-4929

Email: arima.carlos@sirius.ocn.ne.jp

③ 麻雀愛好会

柳原 実

Tel&Fax: 043-461-0497

Email: yana@catv296.ne.jp

④ カラオケ愛好会

天野一良

Tel&Fax: 043-488-2250

Email: kazu.amano-2002@proof.ocn.ne.jp

⑤ 史跡散策会

萩原隆一

Tel&Fax: 043-461-9154

Email: tkk.hagiwara@orchid.plala.or.jp

特別寄稿

《数の子事件》

“いいか お前を助けるのではないぞ。魚を助けるのだぞ。我々も魚のお陰で生活が出来ているのだから その魚を腐らせてしまうような罰当たりなことなど出来ないからだ。”

コンクリートの床に土下座をして、何度も何度も頼み込んで漸く聞けた言葉です。本当に生涯忘れるこ



1973年春、カナダ/バンクーバーでの出来事です。当時バンクーバーに駐在していた私は本社の水産部が手掛けた数の子製造事業の現場を監督する立場に立たされました。数の子はニシンの卵ですが、春先にニシンは産卵の為浅瀬にやってきます。この腹持ちのニシンを漁師たちが沖合で漁獲し、その漁獲物を運搬船(バージという)に移すと又漁場に戻り漁獲を繰り返すわけですが、この運搬船は陸上の各水産加工屋が独自で手配します。持ち帰ったニシンは薄い塩水を入れた大きな水槽に貯められ、それから順次取り出し処理用のコンベアベルトに乗せられる。それをラインに並んだ熟練の女工サン達が小刀で素早く器用に内臓を出し、卵を取って、素洗いし、塩水入りのプラスチックバスケットに詰めて日本向けに船積みされるまで冷蔵庫に保管されます。

魚価交渉はシーズン前に予め漁師グループの代表と加工屋の代表との間で行われますが、バンクーバーには老舗大手水産加工屋がありこの連中がバンクーバーで水揚げされる魚をほぼ独占しております。BC パッカーズ、キャンフィスコ、マクミランといっ

た水産会社ですが、漁師たちからすればニシンの他の魚、例えば銀鱈、カレイ、鮭など一年を通して買って貰う水産会社には立場上強くなれず、どうしても加工屋リードの値決めになってしまうのが現実です。弱小の水産会社も 2~3 ありますが 彼らは独自でヒモ付きの漁師たちを持っていないためゴミ拾い程度の仕事しかできませんでした。この大手加工屋達は独自のルートで数の子用の原料を日本に輸出しておりました。数の子の主要生産地は北海道の留萌にあり、そこに数件の大手メーカーがいました。この連中とカナダの大手が手を組んでいたのです。

ニシンは *Roe Herring* と *Food Herring* の 2 種類があります。 *Roe* (卵) *Herring* は太平洋西海岸で獲れ、卵は良質で上級の数の子が出ます。一方、*Food Herring* は大西洋で獲れますが卵質が柔らかくて正月用のプリプリ感のある数の子は作れません。今、スーパーで売られている型の大きい醤油味付け数の子は全て東海岸(大西洋)のニシンの卵であります。この大西洋ニシンの卵は食感がよいので日常食卓にのるようになったので、正月用の本来の数の子よりも親しまれるようになりました。ヨーロッパを旅行した人でしたら朝食のメニューに必ずと言って良いほどのっている *Kippered Herring* (燻製ニシン) をご存じと思いますがこれは大西洋ニシンでつくられた燻製品です。

前述しましたようにバンクーバーの大手加工屋がニシンを独占的に買い付けていますので、日本の商社が新しく数の子の仕事に参入しようとしても、魚の手当ての目途が立たなければどうにもならないのです。また、外国の会社が直接漁場で漁師から魚を買うことはカナダ水産省が禁止していたのでカナダ法人を通して買うしかありません。

1973 年(S48)頃は商社において水産部は人気がありました。外国への出張が多く、特に現地での製造事業に携われることなど他の部署では殆どあり

ませんでしたので、この仕事にプライドも持てました。魚が獲れたり獲れなかったり、相場に左右されたり、まさに「バクチ」ともいえる難しいビジネスですから非常に神経を使う仕事でしたが、商社も最早「右から左へ」製品を流す商売形態では食えないので、リスクを負っても原料市場まで手を伸ばさざるを得ない時代になってきたのです。魚は年に一度の漁期しかありません。今年は魚価が高い P8 くらいという訳には行きません。リスクを怖く、撤退したら、一年間やる仕事なくなるだけでなく取引先から相手にされなくなりますから次のシーズンの仕事は非常に難しくなりますし、と言って別の新しい商材などそう簡単に見つかるものではありません。要するに、一度撤退したら復帰できる保証は殆どないということです。製造事業というものはシーズン初めに色々な準備が必要です。先ず、原料供給先の確保、加工場、作業員、資材類の手配といったことですが、これらの準備をしておいて魚の価格が高いうからと事業をストップしたら、これらの準備が全て無駄になるということです。とんでもない損失が出ます。更に、次の年この資材を使えるチャンスがあるかどうか全く分かりません。

どこの会社も新しい事業を始めるには事業計画を立て、稟議書を作成し、役員会の決議を得る必要がありますが、魚相手の事業計画は計画通りいったためにはなく、どの役員も水産部の稟議申請書に判を押したがりません。しかし、稟議が通らなければ仕事が出来ないのでバラ色の申請書を作るのですが、水産を良く知らない役員は疑心暗鬼のまま反対する理由が見つからず判を押すことになります。私もハツタリ稟議書の書き手としては社内では名が通っておりました。

1978 年(S53 年)最大手の M 商事が数の子の市場占有を目論んでバンクーバーでニシンの買占めを始めました。我が社も既に留萌の数の子メーカーに渡りをつけて参入を決めていたのでカナダの取

り組み相手を物色していました。相手とする条件は、

1. ニシンを漁場で買う権利を持つ水産業者であること。
2. 買い付けたニシンを塩水に漬けて保管できる場所と処理場があること。
3. 腹出しの作業員を集められること。
4. その他

我々はバンクーバーの対岸にあるナナイモというところにあった廃業同然の小さな会社と組むことにしました。この会社の名を使ってページを仕立て、CASH BUY と書いた大きな幟を掲げて漁師からの直接買い付けを強行した次第です。

言い換えれば、カナダの大手加工屋にヒモついている漁師に漁場で直接 CASH を渡してニシンを横取りすることを企んだわけです。魚価交渉はシーズン前に加工屋のグループと漁師の代表との間で行われますが、加工屋仲間が手を組めば漁師は交渉に勝てません。ニシンだけでは無く他の魚もシーズン通して引き取って貰わねば自分たちの生活が出来なくなるわけですから。然し、漁場でキャッシュを渡すのなら漁師が黙っていれば加工屋は分かりません。我々のキャッシュバイは今まで加工屋にとっては有利な立場で漁師と交渉出来たものが、魚価は上がり買い取り数量は減るといって到底許せない状態に追い込まれることになったわけです。無論、自由競争の世界ですから彼らも面と向かって抗議をしてくる訳には参りません。

こんな状況下で、問題が起きたのです。

買い取ったニシンは工場に運んで来て、塩水を張った大きな槽にニシン貯めて順次処理するのですが、処理が遅れると塩水が浸透して魚体が固くなり、簡単に小刀で卵を取り出すのが難しになります。又、野外的水槽で貯めておく為日中の太陽の光を長時間浴びると水温が高くなって腐ってしまう恐れもあります。

然し、我が社が取り組んだ相手は十分な腹出し作業員が集められず最悪の状態に見舞われました。此の儘だと全損の恐れがあります。救う唯一の道はバンクーバーの大手加工屋で腹出しをしても「P9」しかありません。勿論、この時期その加工屋側のニシンの腹出しをやっている訳ですからおいそれと引き受けてくれるはずがありません。しかも最初に述べたように、これら大手の商権を邪魔して始めた仕事ですから今更助けてくれとは言えませんし、私自身既に悪名高いキャッシュバイヤーになっておりましたので。そこでカナダ二世の知り合い(Mr. F)に頼んで、その加工屋に頼んでもらうことにした訳です。その時、口に出した言葉が“お前を助けるのではないぞ ニシンを助けるのだぞ”という言葉でした。Mr. Fの両親は和歌山出身で明治時代カナダに移民してきたのですが、当時は漁業か林業しか働く場所がなく、それも一番汚い場所での仕事しかなく本当につらい思いをされたそうです。ですから、その人たちと会うと金銭にはうるさくワンペンスでも疎かにしませんでした。兎に角、Mr. Fのお陰で危機を脱してニシンの腹出しが出来、それを日本に輸出出来る段取りまでこぎつけ命拾いしたのですが、随分とコストの高い原料となってしまいました。

このニシン事業を製造面から見てきましたが、これを金融面から見ると色々なエピソードがあります。BANK OF CANADA の地元産業への理解とその育成にたいする熱意、一方では脆弱な相手に対する融資の逡巡、etc. 今回は触れないことにしました。

昭和40年～50年は、数の子は黄色いダイヤとも言われておりました。数の子は難しい商品で、消費者が求める歯応えのある数の子は春先の抱卵寸前のニシンからしかできません。一方で、実需は翌年の

正月に集中。商社は一年近く在庫を抱える必要があり、また為替リスクが付きまといっていました。

1980年(昭和55年)に「カズノコ倒産事件」というものが起きました。これは三菱商事の子会社である「北商」という水産専門商社が、年末にかけ価格が上がるだろうと読みカズノコを買占め、在庫を余剰に持って価格の釣り上げを図ったものです。しかし、消費者の買い控えによって価格は暴落し多額の負債を抱え倒産。新聞にも大きく報道され業界を震撼させました。わが社は本社の機転で原料を全てM商事に売りつないで一難をまぬかれました。少しでも対応が遅かったら、間違いなく懲戒免職になった人間はいたであろうし、私もその一人だったかもしれませぬ。商売は儲けなしで終わりました。またゾロ、水産の奴らが会社の沢山の金を無益に使ったと罵倒され、肩身の狭い思いをしました。人生色々です。

最後に、バンクーバーの中心地にある、高級ホテル“ホテル バンクーバー”で Mr. F が奢ってくれたカクテル“ウオッカ マティーニ ドライアップ”は実に美味しかった思い出があります。後に、Mr. F から実は俺も慶應出なんだと言われました。移民の子が故郷日本の大学に留学するといったことは当時考えられないことだったと思います。漁業か林業しか働き場所はなく、しかもその末端で一番厳しい仕事をさせられた訳ですから、地元の大学に入れることさえ並大抵な事ではなかったと思いますが、すごい儉約一家でした。ですから苦労はしたが息子を日本の大学に入れたことはどんなにか自慢だったろうと思います。兎に角、彼は後輩を助けてくれたのです。私は慶應を出ていて本当によかったと思いました。

最後に、後年アラスカで鮭を買い付けしていた時、アリューシャン列島の玄関口であるキングサーモンという場所の飛行場から乗ったセスナ機の中で、一人

の若い背広姿の青年に乗り合わせました。“何処へ? 何しに?”と聞いたところ E g e g i k という処の沖合に冷凍船を張り付けて鮭の買い付けをしているのだが、冷凍した鮭を入れるカートンボックスが足りなくなって困っていると言うでは無いのですか。困るところか入れ物が無ければ仕事中止しかない大事件です。この若造はことの深刻さを全く分かっていなかったのです。我が社は同じ場所の陸上に冷凍設備のある冷蔵庫を建て、買い付けた魚を冷凍して日本に運び出す準備をしていました。カートンボックスは二年分用意してありました。古老から教えられた教訓の一つに“魚の原料仕事をやる場合は資材類の準備は最低でも2年分用意せよ”ということでした。魚は不漁の年もあれば、大豊漁の年もある。もし魚がたくさん獲れて入れ物が無かったら事業中断どころか相手との訴訟問題になるのは必定である、という戒めです。この青年にかなりの数量のカートンを分けてやりました。カナダでのニシン事業で助けられたことを思い出したからです。“いいか、お前を助けるのではないぞ”全く同じケースでした。

後年、理由あって転職をしましたが、行く先々倒産に会い、ついに本当の失業者になりました。約半年失業保険を貰ってのつらい生活をしましたが、その失業者を拾ってくれたのは、あのアラスカでカートンボックスを分けてあげた会社でした。

(S35 法) 下山 博

……………
一昨年(H27年)11月1日に開催した第26回サロンにて、現役時代食品専門商社に勤務されアラスカやカナダの凍てつく極寒の地で筋子・数の子等の水産物の買い付けに苦労された会員先輩の下山様に貴重な体験談をお話していただきましたが、サロンという限られた時間内では到底用意していただいたお話のすべてを披露して頂くことができませんでした。サロン終了後も「是非とも後半の話も聞かせて欲し

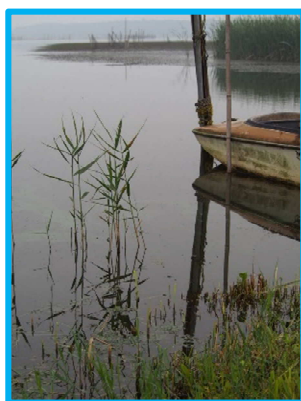
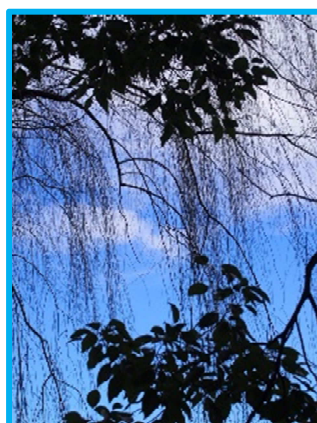
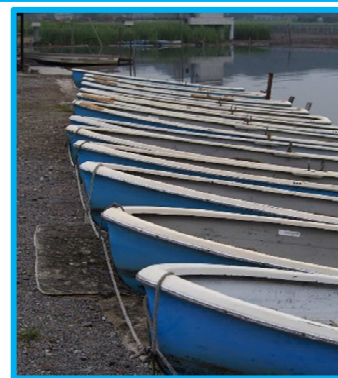
い！ 聞きたい！」という声が多く寄せられたので、
続きのお話を三田会だよりに特別寄稿という形で寄
稿して頂きました。

佐倉三田会ギャラリー

今号は、諏訪速雄さん（S34 経）が、これまで
写真展で発表された作品をお借りして飾らせていた
だきました。

撮影技術にも感嘆しますが、題材を求めて飛び回
るエネルギーも驚きです。

海外での撮影・なんとなく懐かしい写真・心和む水辺
の写真など 8 葉を掲載させていただきました。



♥ 編集者からお願い！！！！
愛好会活動などの写真を多数お寄せください。
次号（第 16 号）を飾ります。

佐倉三田会 平成28年度会計報告

第2号議案

(28年4月1日～29年3月31日)

収入の部

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
前 年 度 繰 越 金	354,188	354,188	前年度比6,479増
年 会 費	300,000	288,000	3,000×96名=288,000 前年度比6名増
総 会 懇 親 会 費	500,000	505,000	祝い金含む 参加57名+来賓18名(うちハワイアン5名)
ファミリーパーティー会費	350,000	288,000	参加44名
雑 収 入	80,000	141,055	連合三田会大会券販売 40,000 寄附金 101,050(カラオケ 25,500 絵画 25,000 提供品販売 32,050 新保友紀子リサイタル後援キャッシュバック 30,000 他) 利息 5
収 入 計	1,584,188	1,576,243	

支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
総 会 懇 親 会 費	420,000	426,713	ウイシユトンホテル宴会費 393,613 来賓手土産 23,100 ハワイアン食事代 10,000
ファミリーパーティー宴会費	320,000	288,125	ウイシユトンホテル宴会費 268,125 三遊亭ユーカリ 20,000
渉 外 費	230,000	225,500	千葉県合同三田会 25,500 佐倉稲門会 20,000 市川・船橋・四街道・八千代・千葉・九十九里三田会 各20,000 浦安三田会 10,000 連合三田会大会券購入 50,000
会 議 費	16,000	14,866	幹事会 4/24・5/29・6/26・8/28・9/25・10/30・11/27・1/29・2/26・3/6
事 務 費 ・ 通 信 費	44,000	26,819	徽章バラ 2,631 印刷代等 24,188
そ の 他 予 備 費	110,000	108,036	総会等謝礼 54,536 千葉県合同三田会10周年記念品 3,500 熊本地震義援金 50,000
(小 計)	1,140,000	1,090,059	
次 年 度 繰 越 金	444,188	486,184	
支 出 計	1,584,188	1,576,243	

本年度の会計収支について、関係帳簿ならびに関係書類を詳細かつ慎重に監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されていることを確認しましたのでご報告いたします。

平成29年4月30日

監 査 岩 淵 明 弘